令和７年度第２回さいたま市公共事業評価審議会　摘録

１　開催日時　令和８年１月 23 日（金）　9 時 30 分から 11 時 30 分まで
２　開催場所　西会議棟　第３会議室（オンライン会議）
３　出席者　　委 員　桑田会長　久野委員　黒金委員　中野委員　山﨑委員
　　さいたま市　建設局　市川理事
　　建設局建築部住宅政策課　　金森課長　外２名
　　都市局まちづくり推進部市街地整備課　榎本課長　外３名
　　都市局都心整備部大宮駅東口まちづくり事務所
　　古谷所長　外５名
　　建設局土木部道路環境課　　山﨑課長　外３名
　　事務局（建設局技術管理課）　　横田課長　外３名

４　議　　事
⑴　議案審議
〔事前評価〕さいたま市地域住宅整備計画（防災・安全）（令和６年度～令和 10 年度）
〔事後評価〕活力ある都市活動を支える都市基盤の整備（第２期）
〔事後評価〕大宮駅周辺地区 都市再生整備計画（第２期）
〔事前評価〕大宮駅周辺地区 都市再生整備計画（第３期）
〔事前評価〕生活空間における交通安全対策（第３期）（防災・安全）
⑵　その他

５　傍聴者　　なし

６　議事内容
⑴　議案審議
〔事前評価〕さいたま市地域住宅整備計画（防災・安全）（令和６年度～令和 10 年度）

	［住宅政策課より説明　資料１］ 《質疑応答》
久野委員	・最初の説明で、当初は２年計画だったものが５年に延びたのは、上位計画に合わせてということだが、整備をすべき対象が増えたのか、整備すべき内容が拡充したのか内容お伺いしたい。
住宅政策課	・馬宮住宅について、120 戸のうち令和７年度まで 90 戸、令和 10 年度までで 30 戸整備する予定である。また、駐車場の整備も合わせて 20 区画

	増える予定である。
黒金委員	・事業計画の内容について、異論はないが、参考までに公営住宅の稼働状況と、人口減少時代における今後の戸数の計画についてお聞きしたい。
住宅政策課	・今現在の入居率はおおよそ 9 割（入居率 89%程度）というところ。残りの 10%も空き住戸というわけでなく、年度 3 回の定期募集をかけるための空き住戸であり、入居率が低くなって問題が生じているわけではない。今後の住戸の戸数については、市営住宅の長寿命化計画のなかで戸数を定めており、現在は、2600 戸程度ある市営住宅を現状維持する計画としている。今後、耐用年数を迎える建物が増えていくので、建替えを進めるのか、現状戸数を維持するか等については、今後の計画の中で検討を図って参りたい。
中野委員	・令和 6・7 年度の事業はすべて実施済みで、今回の増分については、馬宮住宅のみが対象なのか。
住宅政策課	・令和 6・7 年度分については事業実施済みであり、令和 8 年以降の事業については、馬宮住宅（2 期工事）の建て替え及び駐車場整備と辻水深団地の設計業務が予定されている。
中野委員	・資料に表示されている馬宮住宅と辻水深住宅が今後 5 年間の計画で、令和 6・7 年度については、実施済みということでよいか。
住宅政策課	・そのとおり。
	（意見等以上）
桑田会長	・市の事業評価（案）に特段の意見はなしでよろしいでしょうか。
	（意見なし）
	・本件の審議は以上。

〔事後評価〕活力ある都市活動を支える都市基盤の整備（第２期）

	［市街地整備課より説明　資料２］ 《質疑応答》
中野委員	・令和５年度までをご説明していただいたが、審議の対象について、もう少しご説明頂きたい。
市街地整備課	・本案件は、計画期間の平成 31 年～令和５年度での事業の、当初定めた目標に対する、令和５年度までの目標の達成状況等についてご審議頂きたい。
中野委員	・わかりました
久野委員	・平成 31 年度から令和５年度までの「活力ある都市活動を支える都市基盤の整備」を拝見すると、目標値を達成できてはいないが、客観的に見て悪い数字とは思えない。どの指標も事業効果を発現しており、今後につながる結果と思う。
黒金委員	・交通事故は事業区域の縁辺地区で起こっているようだが、要因や今後の対策についてお考えがあればお聞きしたい。
市街地整備課	・縁辺地区での交通事故については、道路部署と共有しながら、対策について検討を重ねてまいりたい。 （意見等以上）
桑田会長	・市の事業評価（案）に特段の意見はなしでよろしいでしょうか。 （意見なし） ・本件の審議は以上。

〔事後評価〕大宮駅周辺地区 都市再生整備計画（第２期）

	［大宮駅東口まちづくり事務所より説明　資料３］

	《質疑応答》
黒金委員	・アンケート調査について、回収率が高かったと伺いましたが、その方法について教えていただきたい。また、ウォーカブルなまちづくりについては、非常に魅力があると思う。社会実験で車両の交通規制をしたようだが、今後も車両規制を考えているのか。
大宮駅東口まちづくり 氷川参道対策室	・令和 7 年 8 月に満 20 歳以上の大宮区民を対象に郵送で実施したが、返信率を高めた要因が特にあるわけではない。 ・また、車両規制については、昨年度に行った交通社会実験で一定の効果が認められたので、氷川参道の一部区間において今後、規制を行う方針で計画をしている。
山﨑委員	・大宮停車場大成線において、道路は広くなって人が通りやすくなっているが、樹木が減っているように窺える。去年、一昨年と酷暑と言われている中で、日陰の重要性が高くなっている。日陰の区間を作ってあげる等、歩行者等への快適な歩行空間の提供についてはどのようにお考えか。
大宮駅西口まちづくり	・ご指摘のとおり、大宮停車場大成線の駅前区間については現地の写真を見る限り、整備後間もないことから、樹木が生育途中であり緑が少なく見える状況である。今後、駅前区間だけではなく、中間区間や国道 17 号線に接続する区間も含めて、大宮停車場大成線のあり方については、社会実験等を行いながら頂いたご意見も踏まえて検討を進めてまいりたい。
久野委員	・車道とあわせて自転車通行区間が新たに整備されという認識でよいか。
大宮駅西口まちづくり	・交互通行であった道路を一方通行化をして、車道の幅員を狭めて歩道を広げる整備を行った。これに合わせて路肩を確保し、荷捌きのための停車スペースや自転車の通行区間を計画した。
久野委員	・整備により、結果として自動車と自転車が通行しやすくなったという認識でよいか。
大宮駅西口まちづくり	・そのとおり。
桑田会長	・アンケートの結果からも、「街並み」というものは、建物だけでなく「緑」も含め「街並み」と考えるべきなので、植栽等についても今後検討していただきたい。

大宮駅西口まちづくり	・わかりました （意見等以上）
桑田会長	・市の事業評価（案）に特段の意見はなしでよろしいでしょうか。 （意見なし） ・本件の審議は以上。

〔事前評価〕大宮駅周辺地区 都市再生整備計画（第３期）

	［大宮駅東口まちづくり事務所より説明　資料４］ 《質疑応答》
山﨑委員	・一日の歩行者交通量は年間平均の交通量という指標だが、日々の天候や気候変動等々が出歩くことについて大きな影響を与えるので、年間平均ではなく四季等も考慮してはどうか。
大宮駅東口まちづくり	・今回の事業には含まれていないが、暑さ対策で実施する大宮駅周辺のグリーンインフラの取組と連携した実証実験を行っており、継続して実施していきたいと考える。指標を季節に分けることについては、データ整理上でいくつか課題があるため、年間の平均としている。
久野委員	・各指標の数値については、どのように算出されたのか。
大宮駅東口まちづくり	・都市再生整備計画等で採用実績のある通信事業者のビックデータを使用している。
久野委員	・さいたま市で行われる個別具体的な事業の積み重ねではなく、一般的に使われるデータ解析の手法で決定したのか。
大宮駅東口まちづくり	・他地域から来る来街者を対象に抽出したデータを採用しており、さいたま市の個別具体的な事業の積み重ねではない。 本市の総合振興計画の基本計画の追加指標として、滞在者数という指標があり、その中で令和 12 年度に 23 万 1 千人とする目標を設定している。これは都心・副都心における 1 日当たりの滞在者数を示している。

	そのうち、大宮駅周辺の部分を抜粋し、目標値として設定した。
中野委員 大宮駅東口まちづくり	・指標 2「滞在人口」における滞在時間について、「滞在」の定義を教えてほしい ・ビックデータ解析の中では、60 分以上を「滞在」としている。
	（意見等以上）
桑田会長	・調査を実施する時期について、今後検討の余地があるが、今回の市の事業評価（案）に特段の意見はなしでよろしいでしょうか。 （意見なし） ・本件の審議は以上。

〔事前評価〕生活空間における交通安全対策（第３期）（防災・安全）

	［道路環境課より説明　資料５］ 《質疑応答》
桑田会長	・指標①（歩行中死傷事故）と指標②（死傷事故）の違いについて、もう少し具体的に教えてほしい。
道路環境課	・指標①は車対車の事故ではなくて、車対歩行者、あるいは自転車対歩行者の歩行者を対象とした事故の件数を母数としているが、指標②の死傷事故件数は市内の全ての事故の件数を母数としており、歩行者関連事故以外も含まれる。
桑田会長	（意見等以上） ・市の事業評価（案）に特段の意見はなしでよろしいでしょうか。 （意見なし） ・本件の審議は以上。

⑵-1　その他　全体を通してのご意見

・意見等無し

⑵-2　その他（議事録の確認について　※議事の前に確認）

	・今回の審議会の議事録は、桑田会長より指名した中野委員及び山﨑委員が事務局で作成する議事録を確認することで了承。